

## 2016年度第1回にいがた摂食嚥下障害サポート研究会主催講演会開催報告

新潟大学大学院医歯学総合研究科 共催  
一般社団法人 新潟県歯科衛生士会 後援  
新潟県歯科医師会 後援  
新潟県言語聴覚士会 後援

**テーマ** 「今、大学病院では」  
**日時** 平成 28年 5月 15日 (日) 13時～16時 15分  
**場所** 新潟大学有壬記念館  
**参加者数** 116名  
**参加企業** 9社

### タイムスケジュール

13:00-13:05 開会あいさつ

13:05-14:05 講演 1  
座長 (辻村恭憲 摂食嚥下リハビリテーション学分野 准教授)  
講演名 臨床家のための研究法：摂食嚥下リハビリテーションにおける実践  
講師 兼岡麻子先生 (東京大学医学部附属病院リハビリテーション部 言語聴覚士)

14:10-15:10 講演 2  
座長 (辻村恭憲 摂食嚥下リハビリテーション学分野 准教授)  
講演名 嚥下障害の手術治療  
講師 香取幸夫先生 (東北大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野 教授)

15:10-15:20 休憩 企業展示

15:20-15:50 報告  
座長 (真柄 仁 摂食嚥下機能回復部 講師)  
上原達明先生 (上原歯科クリニック)  
尾崎康子先生 (スマイル歯科おざき)

15:50-16:10 総合討論  
座長 (井上 誠 摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授)

16:10-16:15 閉会あいさつ

## 概 要

本講演会では「今、大学病院では」をテーマとして、2名の講師による講演ならびに新潟大学医歯学総合病院での臨床研修を経験した2名の先生から症例報告が行われた。

兼岡先生には、言語聴覚士として摂食嚥下リハビリテーションに関わっている東京大学医学部附属病院ならびにボストン大学の紹介の後に、学位取得にいたるこれまでの経験を紹介された。はじめに、臨床から研究、研究から臨床（実践）へという視点が重要であることを述べた後に、臨床での疑問を起点としてどのようにその整理を行うか、研究計画を立てるにあたって必要なスキルとは何かを解説された。喉頭麻痺は誤嚥性肺炎の発症リスクを高めるのか、口腔ケアは誤嚥性肺炎を予防できるのかなど、日々の疑問を掘り下げた研究内容の紹介を通して、改めて臨床研究の重要性を力説された。

香取先生には、嚥下障害の外科的対応としての嚥下機能改善手術と誤嚥防止手術の詳細を、自らの豊富な経験を通して紹介いただいた。前者は発声機能を残して嚥下改善を目指すものであり、適応として喉頭感覚やADLがある程度保たれていること、後者は音声は失われるが誤嚥性肺炎の予防が確実であること、さらにそれぞれの術式には利点欠点があることから、術式を病態のみで決めることなく、それぞれの経験や術後のリハビリテーションを見すえて行うべきであることを強調された。

報告では、「嚥下障害専門医育成に向けた取り組み」と題し、新潟大学医歯学総合病院にて研修を行ってきた上原先生、尾崎先生から自院での症例を紹介していただいた。最後に十分な総合討論を行う時間がなかったものの、以下のアンケートにあげる様々な感想や意見をいただいた。

休憩時間には、企業展示会場にて活発な情報交換が行われた。

**参加者によるアンケート結果（有効回答数 53 名 回答率 46%）**

**1. 参加者の性別**

①男性 22 名 ②女性 30 名 ③無回答 1 名

**2. 参加者の年齢層**

①10 歳代 0 名 ②20 歳代 4 名 ③30 歳代 14 名 ④40 歳代 23 名 ⑤50 歳代 9 名  
⑥60 歳代 2 名 ⑦無回答 1 名

**3. 参加者の職業**

①学生 1 名 ②会社員・公務員 1 名 ③医療関係者 48 名 ④その他 1 名 ⑤無回答 2 名

※③の内訳

医師 2 名，歯科医師 11 名，言語聴覚士 13 名，理学療法士 1 名，歯科衛生士 14 名，管理栄養士 2 名，看護師 4 名，介護職 1 名，無回答 1 名

**4. 今回の講演会は有意義なものでしたか**

①まったくそう思う 35 名 ②まあまあそう思う 14 名 ③どちらとも言えない 2 名  
④あまりそう思わない 1 名 ⑤全くそう思わない 1 名 ⑥無回答 0 名

**5. 講演内容の難易をどう感じましたか**

①まったくそう思う 21 名 ②まあまあそう思う 23 名 ③どちらとも言えない 6 名  
④あまりそう思わない 3 名 ⑤全くそう思わない 0 名

**6. 今後このような主旨の講演会を開催することについては**

①非常に賛成する 39 名 ②まあまあ賛成する 12 名 ③どちらともいえない 2 名  
④あまり賛成しない 0 名 ⑤まったく賛成しない 0 名 ⑥無回答 1 名

## 8. その他の意見

- ・ 兼岡先生の研究に対する熱い想いを聴けて良かったです。私ももっと勉強していかなければと強く感じました。
- ・ 耳鼻科のオペは興味深かった
- ・ 訪問しているが、今日の講演は非常に参考になりました。わかりやすく、とても良かった。
- ・ 研究、手術の話などは必ずしも今の私の興味のある内容ではなかったが、「気付き」をいただけて、有意義だった。
- ・ 難しい内容だったが、参考になることが多かった。
- ・ 「嚥下障害専門医育成に向けた取り組み」の発表もハンドアウトがあればいいと思います。参加できなかった同僚と後日ミーティングするときに役に立つので。
- ・ 参加している全ての職種に参考になるように、時間が短くてもよいので、衛生士や栄養士の話もあるといいなと感じました。すごく難しいです。また、積極的治療を行わない場合の話を知りたいです。
- ・ 今後も多職種の人々の講演があるといいです。
- ・ 自分も研究がんばろうと思いました。

## 講演会風景



